



ほとほら通信

令和3年1月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

1月の主な行事

- 1月 4日(月) 仕事始め
- 8日(金) 工賃支給日
- 9日(土) 土曜利用日 新年・新成人者を祝う会

1月誕生日 おめでとうございます

佐藤修二さん (1月6日)

誕生日おめでとうございます。誕生会は昨年12月25日に行いました。

謹賀新年



本年もどうぞよろしく申し上げます

令和3年 元旦



ほとほら授産所 利用者職員一同



理事長
年頭ごあいさつ

2021年こそ着実な前進を！



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田 修次郎

ほどはら授産所利用の皆さん、保護者の皆さん、あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆さんにとって2021年が、素晴らしい一年間でありませうお祈り申し上げます。

昨年は、中国武漢で新型コロナウイルス感染症のニュースが伝えられると瞬く間に全世界に広がり、夏に日本で開催されることになっていたオリンピック・パラリンピックが今年に延期となりました。そして未だにその感染症は広がり続けています。

伊達市においても11月12日に第1号の感染者が発表されると瞬く間に2桁の感染者数となっております。この法人施設からは感染者を出さないよう注意を払っております。これからも引き続き感染予防を徹底して施設運営をしてまいりたいと思っておりますので、ご家庭においても不要不急の外出をなるべく控え、手洗い消毒等基本的な感染予防をよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の中で令和2年の施設運営は、あぶくま祭や旅行をはじめ各種事業が中止となり、利用者・保護者の皆さんにはご心配をおかけしました。この中であって、夏のジェラートの集いや秋の焼き芋大会等職員のアイディアで代替行事が実施出来ました。

施設経営面では、だての郷では浄化槽の配管の破損、漏水等施設の老朽に伴い大規模修繕工事が相次ぎました。また、社会福祉充実計画によりほどはら授産所南側に隣接する畑地の購入契約が完了しました。

2021年は、購入した土地を造成しほどはら授産所の分散しているハウスを集約し花卉園芸の効率化を図り農耕園芸班の作業環境を改善していきたいと思っております。現在施設前にある旧ハウスを解体して、だての郷の皆さんののびのび運動出来る広場やイベント広場にしたいと思っております。

また、相談支援事業所の開設や個別送迎の実施等山積する課題解決を目指し出来るものを出来るところから着実に取り組み、利用者が少しでも施設内で楽しく過ごして頂けるよう、職員全員で努力を重ねてまいりたいと思っております。

施設は常に「利用者のための施設である。」ことを念頭におき、施設での生活が楽しく充実したものとなるよう、生活や作業しやすい環境作りに職員とともに努力してまいりたいと思っております。一日も早くコロナが収束し、利用者の皆さんが日常の活動が楽しく出来るようになると良いと思います。

保護者の皆様には何かとご支援ご協力をお願いすることが多々あると思っておりますが、ご理解を頂きますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

～一年間無病息災
力合わせて頑張りましょう～



ほどはら授産所保護者会
会長 池田光雄

新年 あけましておめでとうございます。

ご家族揃って新年を迎えられたこと察し申し上げます。当施設の運営と保護者会活動に対し、常日頃よりご支援ご協力ご理解をいただいていることに感謝申し上げます。

今年は昨年に比して寒く雪が多いと言われていています。インフルエンザ等に罹らないよう健康に留意し過ごされますよう、心よりお祈り申し上げます。また間もなく1年になろうとしている新型コロナウイルス患者が急増傾向にあり、経済、生活等に多大な影響を及ぼしています。一日も早く終息することを願うばかりです。

利用者の皆さんはじめご家族の方がたには、引き続き毎日の検温、うがい、手洗い消毒、マスクの着用、換気、不要不急等の外出を控えるなど、困難を乗り越えていきましょう。

結びになりましたが、利用者が明るく、仲良く、楽しく仕事に精を出して働くことができるよう、今まで以上に所長さんはじめ職員の方がたの温かいご指導ご援助等重ねてお願い申し上げます。

この一年間、けが、病気、事故等にあわないよう力を合わせて頑張りましょう。

新年のごあいさつ

～課題を解決し
充実した1年に～



ほどはら授産所
所長 中木雅彦

新年あけましておめでとうございます。利用者の皆様をはじめ、保護者会、地域の皆様にとって、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほどはら授産所運営事業、保護者会活動をはじめ、社会全体が自粛生活を余儀なくされ、暮らしや勤務スタイル、行動様式が一変した一年になりました。皆様も同じだったことと思います。授産所もコロナの影響で、一時期受注が減り、収入減となりました。外出行事は自粛、その代替行事として、ジェラートのつどいや焼いも大会、春と秋に花市ウィークを行い、利用者さんの楽しみや地域の皆様との交流の機会を設けてまいりました。この一年、何よりもあぶくま福祉会関係者から感染者の発生がなかったことが一番良かったことであり、これはずっと続けていきたいと思えます。皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、今年の干支はうしです。丑年は古くから牛は酪農や農業で人間を助けてくれる大切な動物であり、大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、我慢に耐える年、

これから発展する前触れの年と言われています。今年もコロナによる自粛生活を続け、コロナを克服し通常に戻るきっかけの年になってほしいと願う今日この頃です。

丑年にちなんで今年の抱負を述べると、先を急がずコロナ自粛を我慢して続けて、目前の課題を一つひとつ着実に解決していきたいと思っています。個別送迎の実施、社会福祉充実計画によるハウス設備拡張等をすすめ、利用者さんたちが働きやすい環境をつくり、働く喜びを感じ就労へのモチベーションが上がるよう努めます。それを目標に、職員一丸となって利用者さんを支援していきます。

新しい年を迎え、利用者さんはじめ、保護者の皆さんや施設職員の皆さん、地域の皆さんとのコミュニケーションを大事にして、多くの皆さんから親しまれるほどはら授産所の運営をしていくことをお誓いします。

結びに、令和3年が皆様にとって良い年になるよう祈念し、新年のごあいさつとします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

空気清浄機購入！



ほどはら授産所で購入した空気清浄機。集塵、脱臭、加湿機能も兼ねている



グループホームでは利用者さんが共有する部屋に空気清浄機を設置しました

国の第二次補正予算による新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金をいただき、ほどはら授産所では空気清浄機、衛生薬品を購入しました。グループホームスクラムでは空気清浄機、だての郷は福祉機器、加湿器等それぞれ購入。利用者さんの感染リスク低減に努めております。

お昼の地震を想定し避難訓練



テーブルの下に入って身を守る利用者さんたち

12月21日、お昼の給食終了後、地震を想定した避難訓練を実施。いつ起きるかわからない災害に対応するため、お昼のくつろいでいる時間でしたが、利用者さんたちは慌てず集合場所に避難することができました。

編集後記 明けましておめでとうございます。ほどはら通信1月号、1ページ目は年賀状風にしてみました。いかがだったでしょうか。イラストは、ほどはら授産所の岩崎真由美さんに描いていただきました。ありがとうございます。▼理事長、保護者会長さんには、年頭のごあいさつをいただきました。御礼申し上げます。利用者さんの就労へのモチベーションの維持向上を図りながら、施設に来て満足感が得られるよう努めていきたいと思っております。▼今年のほどはら通信の編集方針として、毎月第4水曜日に発行し、翌日配付を目標に、普段施設で利用者さんたちがどんなふうに過ごしているかお伝えし、ご家庭からの声も紙面でご紹介したいと思います。ご意見お待ちいたしております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。(M)